

常願寺川水系河川整備計画案を取りまとめるにあたって説明会や意見募集などにより頂いたご意見・ご質問の中から、主だったものを抜粋しております。

【河川整備計画全般にわたるご意見・ご質問】

意見等： 整備計画策定まで今後のタイムスケジュールを教えてください

対応等： 今後、説明会などで住民の方々から頂いたご意見等を踏まえた河川整備計画案を流域懇談会に諮り、成案を得ます。その後、関係機関と協議し、策定されるという流れとなります。

なお、30年間の計画となっていますが、30年間見直さない訳ではなく今後必要に応じて見直します。また、個別事業については適宜説明会を行います。

意見等： 今回、常願寺川であるが、富山県にはいっぱい川があり、他の河川も同じような考え方なのか。

対応等： 黒部川、常願寺川など急峻な山地から流れ富山湾に注ぐ川では、急流河川への対応という課題が共通しています。河川整備計画については、庄川は平成20年7月に策定され、常願寺川や黒部川は河川整備計画の策定に向け、流域懇談会などで議論されているところです。

【治水に関するご意見・ご質問】

意見等： 河川は本来蛇行しているものであり、真っ直ぐにするのは疑問である。

対応等： 平常時、洪水時にそれぞれ有効に河道が使われることが望ましいと考えております。例えば、巨石を用いた河岸浸食対策については、川の流れが護岸沿いに固定しないようにするものです。ご意見を踏まえ、河川整備計画（素案）に記述を追加致しました。

意見等： 私が子供の頃、高さが40m位の4基のタワーエキスカベータが掘削し河床をさげていました。子供心に天井川の氾濫を防ぐ象徴と感じ治水の大切さを常に意識していました。しかしここ40年ほど幸いに大きな出水がなく常願寺川は怖い川という意識は皆さん希薄です。昭和44年の洪水を思い起こすともっと堤防の補強、河道の整備が必要と思います。滞筋が安定せず一本木前は東北方向に屈曲しているため水量が大きいと高水敷がえぐられそうです。計画高水流量4,600m³のとき大丈夫か心配です。最近、NHKのラジオ放送で某ナチュラリストが役所と土建屋が結託してすぐに埋まってしまう砂防ダムを造っていると非難していました。川の怖さを知らない人、被害に合う心配のない人が「環境」を隠れ蓑に治水行政を非難しています。絶対に常願寺川流域を作物がとれない荒廃した土地にしてはなりません。吉野川第十堰をどうすればよいかを問う住民投票のように水害の発生で被害者になる沿岸住民と被害を受けない地区に住んでいる傍観者の意見を同列にしないよう配慮してください。

対応等： ご意見のとおり、急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保し、氾濫域の経済社会活動を支えるため、不断の急流河川対策を実施することとしております。一本木地区については、現在護岸の根継ぎ工を実施しておりますが、洪水毎に安全性を監視・評価し適宜対策を実施してまいります。

また河川整備計画の説明会等においても事業の意義などについて説明させて頂いておりますが、引き続き防災意識の啓発等に努めてまいります。

意見等： 右岸側ではかなり前から浸食されている状況にあるが、常願寺川では上流から河口まで、今後の非常に重要な研究テーマであり、特に河口部についてもっと研究する必要があるのではないかと。

対応等： 河口については、洪水の起こる期間があくと土砂が堆積していくので、近年堆積傾向にあります。ある程度の規模の洪水が起こると河口部の砂州はフラッシュされる状況にあります。既往最大流量を記録した昭和44年8月洪水前では、川の中央付近で100mの水面幅でしたが、洪水後ではほぼ低水路幅まで砂州がフラッシュされ、その水面幅は約300mとなっています。その後、滞筋は昭和50年代で左岸側に寄っており、昭和60年代では川の中央付近を流れていました。平成年代になると右岸側に寄ってきている傾向にあります。平成10年8月洪水のように水面が中央付近まで広がる状況にあります。今後引き続き、洪水時の河床低下による河積、川幅の増大や、洪水後及び経年的な土砂堆積等をモニタリング調査した上で、適正かつ必要な掘削を行ってまいります。なお、高波による河口部の変化や寄り回り波との関係については、現在のところ明らかではありませんので、上述したモニタリング調査を行い研究していきたいと考えます。

意見等： 常願寺川は「天井川」と称され、その反面常願寺川では、一部の区間を除き、土砂採取禁止となっています。大雨があっても流量が増加しても堤防をあふれて流れないように、土砂採取し河床を下げ、堤防を強化すべきと考えますが如何なものでしょうか？

対応等： 洪水が堤防を乗り越えてながれないよう、必要に応じて河口部の堆積土砂を掘削するなど対応していきたいと考えております。常願寺川では概ね天井川を解消しておりますが、河床が低下しすぎると、崖のようになって堤防の安全性を損なったり、橋脚の根入れが不足し橋の倒壊の危険性が高まったりします。また、水辺に近づきにくくなったり、地下水の取水などに影響を及ぼしたりする可能性もあります。そのため、現在より河床高が大幅に低下することは望ましくないと考えております。

意見等： 河口部でマリーナ工事を行っているが、護岸の整備によって河口部の水の流れが変わって、波の状況が違ってきている気がする。これに伴い砂の動きも異なってくるので河口部のことを考えて欲しい。

対応等： ご意見を踏まえ、海岸計画と河川整備を整合させていくよう、河川整備計画に記述を追加しました。また、関係機関と連携して総合的な土砂管理計画の立案に努めてまいります。

【利水に関するご意見・ご質問】

意見等： 農業用水に使われたものをまた川に戻すこととなっていますが、その用水を、冬期間、高齢者も多いことから消雪用水に使いたいと相談したところ、使用目的外は許可されないと言われている。許認可等について、直轄区間においてだけの利活用だけでなく、支川においても地域住民のためにももっと目を開いて検討してもらいたい。

対応等： 水利権は、ある特定地域、ある特定地域の方のだけに許可されているものでない面があります。大多数の地域の方々が必要とされる場合は、位置、時期、量を十分吟味させていただき、関係者と調整をさせていただいた上、対応してまいりたいと考えております。

意見等： アンケートの中にもありましたが、今は水が少ない。昔、大川寺の下でもアユやマスがいた。
国交省でなければできないことをやってもらい、水の量をもっと増やして欲しい。

対応等： 常西・常東用水に代表される灌漑用水をはじめ様々な水利用があり、歴史的経緯の中で各々水利権が与えられております。許可水利権の更新時に時代の要請を踏まえ、対応していきたいと考えております。

意見等： 難しいことだか、濃度的な話でなく、BODが基準値を満足しているので良い状態という評価ではなく、もっと前向きな取り組みはないのか。

対応等： ご意見を踏まえ、河川整備計画に記述を追加しました。常願寺川では環境基準で最も厳しい規制がされており、これをクリアーしております。仮に基準を満足できない状況になれば、河川管理者としては関係機関と連携して対応していくこととなります。

【環境に関するご意見・ご質問】

意見等： 自生の植物を大切にしたい。グミの群生や他の植物を、なくする工法のようなですが、治水にもっと利用すべきです。更に根張りの大きいメタセコイヤなどの並木延長 20 km、いかがですか？
枯れた芹、茅を年中行事で焼いたらどうか。

対応等： 河道内の樹木は、洪水を安全に流す上で阻害となったり、偏流をおこして堤防などの侵食を助長したりする場合もあれば、侵食・洗掘被害を減少させる場合もあり、いろいろな面から今後検討が必要であると考えております。なお、適切に河道内樹木を管理しないと取水施設や漁業などへ流木被害を引き起こす恐れもあります。

意見等： 水生生物を観察するのにとても適した川と考える。「水辺の楽校」ほど、大がかりなものでなくてよいから、いくつもある橋の近くに観察に入りやすい通路を設けてもらえないか。大人にも子供にもよい環境教育ができると思う。

対応等： 常願寺川のように洪水毎に滞筋がかわったり、土砂移動が大きい川では安定的に泳ぐ場所を確保することは極めて困難です。ただ常願寺川水系河川整備計画では、水辺の近づきやすさを確保に努めることとしております。また、常願寺川が身近な環境教育の場として活用されるよう、水生生物調査など総合学習の支援を行うこととしております。

意見等： 天上川の特性を生かし、地域住民が川へはいり込める整備をお願いしたい。たとえば河川区域外からの道路から散策路に通れるようにするとか、車などで入り、川の中に駐車スペースがあるとかでなるべく急流河川のイメージを受けないような整備を進めてほしい。

対応等： ご意見を踏まえ、部分的に他の河川で整備されているような管理用通路兼散策路が出来ないか検討していきたいと考えており、河川整備計画に記述を追加しました。

【河川の維持管理に関するご意見・ご質問】

意見等： 堤防から砂質分が抜けて穴があいているような所が見られる。霞堤など。

対応等： 河川巡視などにより、堤防の陥没や法崩れなどを発見した場合、原因の究明、応急的な対応、抜本的な対策に分け対処するようにしております。今後とも的確な維持管理に努めます。

意見等： ゴミ等の不法投棄のないきれいな常願寺川になる事を望みます。

対応等： 常願寺川につきましては、ゴミの不法投棄が毎年１００トン近くにのぼり、庄川や小矢部川に較べるとかなり多くなっています。ゴミの不法投棄に対しては、富山河川国道事務所において定期的にゴミの収集処理を行っております。河川の美化意識の啓発を促す看板の設置、常願寺川を環境教育の場とするための総合学習等への支援、地域と協働した河川清掃や河川敷施設の維持管理などを引き続き行うことと併せて、美しい常願寺川を目指していきたいと考えております。